

第4回検討委員会(11/4)の内容

**実施時期と新学校名選定方法を提案
取りまとめは次回以降の検討委員会で**

冒頭に第3回委員会です承された再編案について寄せられた意見、質問を各委員が紹介しました。

次に、事務局から、各組み合わせ別の実施時期（議題1）及び新学校名の選定方法（議題2）と小委員会の設置（議題3）について提案しました。

議題1及び2については、各委員が所属団体に持ち帰り、周知・協議を行い、その結果を検討委員会に持ち寄ることとしました。

小委員会の構成等については、次回、事務局から試案を提案することにしました。



第4回検討委員会:平成16年11月4日(木):栄区役所

1 実施時期について

矢沢小 + 犬山小

新校開校予定時期	説	明
平成18年4月	再編後の新校の設置場所は、現犬山小とするが、犬山小の全面改修を早期に実施するため、平成18年度1年間は、矢沢小に仮移転する。 工事終了後、平成19年度（予定）に現犬山小に移転する。 平成17年度は、両校の教育内容、行事等を調整し、十分な事前交流を図る。	

野七里小 + 上郷南小

新校開校予定時期	説	明
平成18年4月	再編後の新校の設置場所は、現上郷南小とする。 平成17年度は、両校の教育内容、行事等を調整し、十分な事前交流を図る。	

公田小 + 桂台小

説	明
推計上は当面、両校とも適正規模の範囲内であるため、時期は、今後の児童数の減少傾向をみながら検討する。	

2 新学校名の選定方法について

(1) 選定の流れ

再編通学区域に係る保護者、自治会・町内会の意見を集約する。



検討委員会は、意見集約の結果を参考に新学校名案を選定し、教育委員会に意見書を提出する。



教育委員会は、意見書をもとに新学校案を選定し、市は横浜市立学校条例改正案を議案として市議会に提出する。



市議会で議決により、新学校名が決定される。



(2) 意見集約の方法

アンケートの実施

- (例)
- ・候補名を例示するが、自由記載
 - ・候補名を制限し、選択
 - ・候補名を例示せず自由記載

対象及び集約者

- ・子ども・保護者 (学校が集約)
- ・地域 (自治会・町内会が集約)

(3) 新学校名選定の考え方

- (例) 学校名を聞いて、その学校の場所が想像できるような学校名

3 その他

小委員会の設置について

配付した概念図

栄区小規模校再編検討委員会

組み合わせ別小委員会

構成

検討委員及び検討委員が必要と認める者
正副委員長、自治会・町内会関係、PTA会長、学校長
検討委員会が必要と認める者

検討事項

新学校名(案)について
通学路の調査及び意見書(案)の作成

開催時期・回数

状況に応じて定める。

小委員会の構成等については、次回試案を提案することにしました。



<再編案について寄せられた意見の紹介>

矢沢小PTA

10月25日にPTA・学校主催の説明会を実施した。いろいろな意見があったが、子どもに良い環境をという前向きな姿勢で、やっとスタートが切れたというところだ。

公田小PTA

同じく10月25日に説明会を開催した。その後、2団体で市長等に要望書を提出した旨の報告を受けた。PTAでは、慎重に検討を重ね、子どもたちが統合を楽しみにし、安心して通学でき、いじめのない学校生活や教育を受けられるような意見書を提出したいと考えている。

野七里小PTA

10月28日に全校懇談会を実施した。意見として多く出たのが通学路の問題。ただ、通学路は、新たな通学区域により変わるので、保護者としては新しい通学区域を早めに知りたいという意見であった。

犬山小PTA

本校は再編の他に改修問題がある。改修について説明会を開いてほしいという保護者の意見があった。

上郷南小PTA

意見は一件も入っていないが、通学路の安全対策はしっかりやってくださいという声はある。本校PTAとしては、前向きに考えているので、これからは、野七里小とPTA行事などで交流の場を増やしていきたいと考えている。新しい学校に2校の伝統的な魂を織り込めたらよいと思っている。

桂台小

保護者の意見を収集しているところだ。相手校との関係があるので、慎重に進めていこうという意見も聞いている。

犬山小

本校にとって、一番不安に思っているのは、耐震工事を含めた改修の時期の問題だ。早く知らせてほしいという保護者の声を聞いている。学校では、統合することによって、新しい素晴らしい学校が生まれるのだという喜びをもってもらえるよう、保護者や子どもたちに話しているところだ。両校が合わさって、友達関係も広がるというような前向きな視点が出てきているように感じている。

矢沢小

説明会では、広い視野での説明を受けた。皆熱心に聞いていて、私達も子どもたちが希望をもてるような新しい学校作りに取り組んでいこうと思っている。

上郷南小

再編の時期はまだ決まっていないが、野七里小と再編することは決まっているので、両校で、新しい夢のもてる学校作りのため、教育内容とか学校行事などについて話し合いを持とうというところまで進めている。ただ、通学路は親にとっては大きな問題なので、不安が解消されたところで、一緒になれたらよいと思っている。

本郷中央

公田小の説明会に出席し、また地域住民の声を時間をかけて聞くようにという要望書ももらったが、私は、検討委員会には委員としての立場で発言している。ただ、小学生をもつ親の不安はわかるので、今後、1つでも2つでも不安を取り除き、前に進めるように検討委員会で協議していきたい。

<実施時期について>

公田小通学区域内の地域の方々の意見の集約は、誰がするのか。

地域の声のまとめについては自治会の問題であるので、各会長と相談し自治会の組織を通して行う。

公田小と桂台小の再編実施時期は、平成18年度以降という理解でよいのか。

この内容のとおり理解していただければよい。児童の減少傾向をみて早くすべきか、それとも慎重にしていくとか皆さんで議論して検討委員会にご意見を出していただきたい。

以前、6校を3校に同時に再編するという話があったと思うがいかがか。また、公田小と桂台小は6年後に児童数が減少するということがわかっているが先送りするのか。それから、通学区域のことで反対という意見が出るので、通学区域については、同時に検討してもらいたい。

第1回検討委員会で検討は6校一緒にやるが、実施時期については、個別に検討していくと申し上げた。公田小と桂台小の組み合わせについて他と異なる点は、今は適正規模の範囲内であるということだ。通学区域については今後の検討課題になっているが、再編に合わせて実施していく必要があると思う。

公田小と桂台小は実施時期が決まっていないのに、新学校名などを決めたりするのか。これから、実施時期と新学校名選定を一緒にやっていくのか、それとも切り離してやっていくのか。

時期は未定といっても、近い将来の課題として予定されているので、できれば一緒に検討するのがよしいと考えているが、正副委員長に相談しながら進めていきたいと思っている。

実施時期については、今日決めるわけではない。それぞれ持ち帰って検討するのだから、公田小、桂台小エリアの方々がこれでよしとすればこのように進んでいくだろうし、継続してこの検討委員会の中で論議してほしいということであれば、また内容が変わってくると思う。次回以降の検討だ。

はまっ子についてだが、市の子育て事業本部とは連絡をとっているのか。

再編については話をしているが、実施時期については案の段階なので決まったら話をする。

湘南桂台団地で、近い桂台小に行きたいという声があるが、考慮してもらえるのか。

実施時期が未定だからといって、その要望について検討しないということではない。再編とは別にそういう要望があれば検討していきたい。

小規模になっても、通学安全が確保されなければ実施時期は検討できない。また、両校間の交流が十分になされた後に実施時期を決めるという皆の意見があった。

< 新学校名の選定について >

校名問題は、今までと違って一人一人の気持ちが非常に影響するので、やさしいようで難しい。できれば、先に延ばした方がよい。検討する優先順位としては、学区の問題の方が理解されやすい。

< 小委員会の設置について >

構成員については、PTAからもう1名入れてもらいたい。また、決め方の方法については、全体会で統一した決め方にした方が混乱しなくてよいと思う。教育内容と跡利用要望についても小委員会がよいと思う。

構成については、小委員会の中で決めていけばよいと思う。校名の決め方については、持ち帰って次回に意見を出していただきたい。教育内容については、それぞれ異なるところもあるが、全体会の中で意見を述べ、後は専門家である教員が、皆さんの意見を踏まえて両校で進めていくと思う。

本郷小に行きたいという強い要望があるので、小委員会には、そこに関係する人を入れたい。学区の変更については、周辺校との関係で調整するので小委員会の中でやるのは適当ではない。

スクールバスがありうるのなら、学区の変更をしなくても済むのではないかと思うが。

スクールバスを運行すれば、通学上の諸問題が一挙に解決するが、予算の問題がある。今後の検討事項である通学安全の時に話をしたい。

スクールバスの運行については、栄区全体の交通網の整備に関わってくる問題だ。学校の統合だけにバスを運行するのはどうかと思っている。子どもたちだけの問題でないと思っている。

小委員会は新学校名にしぼるべき。通学路の調査は人手もかかるし、専門的な知識が必要だ。

通学路の問題については、従来より、スクールゾーン対策協議会で行い、PTAの方が実際に歩いて関係機関に要望を毎年出しているが、ご意見を踏まえて検討したい。

小委員会の検討事項ごとに委員が替わるのは望ましくない。小委員会の検討事項を決めておかないと、委員の構成も決まらないと思う。

事務局が考えている検討事項は、新学校名、通学安全、教育内容、跡利用の要望などである。また、校名のアンケートの取り方は統一し、「候補名を例示するが自由記載」が良いと考えている。

参考までに、矢沢小でのアンケートは自由記載にしたが、回答47名でもたくさんの校名がでてきたので、例示するのがよいと思う。

次回の検討議題の確認をしたい。

実施時期、新学校名、通学区域の一部変更関係、小委員会の構成等の試案提案などを考えている。

今日の検討委員会は、前回に比べて1歩、2歩も前進した内容で、嬉しく思っている。ただ、要望を上げられる時は、取捨選択をし、検討委員会に出す内容なのか、自分たちの組織の中で検討すべきものなのか、あるいは、自治会・町内会にあげていくものなのかを交通整理していただければ、よりインパクトの強いものになるだろうと感じた。

次回検討委員会の日程

平成16年12月15日(水)

18時

栄区役所会議室

栄区小規模校再編検討委員会の経過・横浜市の基本方針等は
ホームページでもご覧いただけます。

* 横浜市教育委員会HP

・ 基本方針等：<http://www.city.yokohama.jp/me/kyoiku/gakku/gakku.html>

・ 栄区小規模校再編検討委員会：

<http://www.city.yokohama.jp/me/kyoiku/gakku/shoukibo/index.html>

栄区小規模校再編検討委員会では、常に皆様からのご意見をいただいております。
FAXかEメールにて事務局までご連絡ください。

・ 栄区小規模校再編検討委員会事務局

横浜市教育委員会事務局学校計画課

TEL：671-3253 FAX：651-1417

Eメール：ky-sakae@city.yokohama.jp

